

はじめに

jmc（ジェイエムシー）音楽研究所の大畑恵三さんより、半年程前「クラリネットの教則本」を電子書籍で出版してみないかとの提案がありました。

それは従来の教則本とは異なり、Vier Weg(フィール・ヴェーク)の商標で最新のマルチメディア技術を駆使して、文字・静止画像・音声・動画の四つの道筋より真実を浮かび上がらせようとするものであり、理解しやすい画期的な教材の開発を考えていると説明して下さいました。

教則本の多くは、先生や先輩からのアドバイスを受けながら勉強するのが一番良い方法です。しかしクラリネットの先生について学ぶチャンスに恵まれない数多くの熱心な初心者こそ、クラリネット演奏の基礎的な原理を、将来のためにもしっかりと理解する必要があります。

私はVier Weg『クラリネット教則本』（初級）Let's play clarinetが熱心な初心者のよき『伴侶』になると確信しています。

(2012.1.17)



クラリネット奏者 浜中浩一